



なすびの花

発行者：検査課

掲示期限：令和5年11月30日 (木)

掲示許可：総務課

2023年品質月間に向けて

11月は品質月間です。

品質月間の主な目的は、全社員の品質意識の高揚や品質管理活動の幅広い普及活動です。

そして、今年のテーマは、

**原点回帰！人づくりと強い現場で創る
新時代の品質。**

です。

原点回帰は、お客様に満足していただく品質を創造するには何をすべきかを、あらためて見つめようというメッセージであるとのこと。

2020年から、未知であった新型コロナウイルスが流行し、世の中がガラリと変わってしまいました。

徐々に新型コロナウイルス感染症への対応や処置が定着してまいりましたので、今年に入って、規制が緩くなりました。

試行錯誤しながら対応に追われていた時代が過ぎ、一息つくことができるようになり、ここで原点に立ち返る、気持ちの余裕が出てきたのかも知れませんね。

原点に立ち返り、お客様満足度を高め、維持できる品質を作れる人材を育て、現場を育てる、というテーマです。

私たちも日頃から、お客様(お取引先様)に満足していただける製品を作ること第一に考えて、業務に励んでいます。

ですが、『お客様満足度』というものは、私たちのような製造業は、流通業界と違い、お客様満足度を知らることがなかなか難しいことだと感じています。

営業活動の中で、お取引先様とのコミュニケーションを通して、概ね好意的なフィードバックを受け取り、受注につながっていることが、お取引先様からご満足いただけていると判断できるのではないのでしょうか。

新型コロナウイルス感染症の流行下では、お客様とリモートによる会議を行い、最近では対面での打ち合わせも含め、お客様とのコミュニケーションを常に意識し、お客様の感覚と、私たちの感覚とのズレを少しずつ解消しながら、製品を創っています。

ISO9001の活動においても、『顧客満足度』は毎月の品質環境会議の中で報告がされていて、改善につながっています。

また、『ひとづくり』に関しては、『教育・訓練』の部分で、教材を用いての勉強会を実施したり、社員が持ち回りで講師となり、講師が、品質や環境についてのテーマを選定し、朝礼で教育活動を行ったりと、教える側、聞き手側の双方の知識向上を図っています。

このように普段から、今年の品質月間のテーマでもある

『人づくり、現場づくり』

を意識しながら日々の業務に 取り組んでいます。今年の繁忙期もそろそろ終盤となります。

心と身体の健康に留意し、また、品質に気を配り、丁寧に生産した製品の向こうに居るお客様の笑顔を想像し、元気に業務に励みましょう。

災害への備え

今年に入ってから、また『南海トラフ地震』という言葉をよく目や耳にします。

以前から、『今後30年以内に必ず起きる』と言われている『南海トラフ巨大地震』は、想像するだけで、とても恐ろしく、『なすびの花』でも、何度か取り上げています。

想定される被害は甚大で…とよく書かれています。

私たちの記憶にある、阪神淡路大震災と南海トラフ巨大地震の想定とを比較した資料によると、地震の規模は、

◆ 阪神淡路大震災…7.3M

◆ 南海トラフ巨大地震…9.1M(推定)

ということと、どちらも最大震度は、7となっていました。(阪神淡路大震災の亀岡市は震度5)

資料では、京都府は被災地の外側であることで、物流の麻痺が起こり、食料や水といった生活必需品は欠乏し、応援も来ないだろうと想定されていました。

自分の身は自分で守ることが大切です。

まず防災グッズや非常食など、リュックに入る分量を一人一個ずつ、玄関に準備しておきましょう。

ちなみに我が家は田舎で外に物置小屋があるので、そこに色々と少しずつ備蓄品を収集しています。

もしもに備えて、皆様も、ぜひぜひ備蓄を始めてください。